

あ お や ま た だ し  
青山正  
さん  
き ゆ う え ん か い  
救援会ニュース 第62号  
(2003.8.9)

東京都港区新橋2 - 8 - 16 石田ビル4階  
TEL03-3591-1301 FAX 03-3591-3583  
E-mail:CZX00547@nifty.ne.jp  
郵便振替 00120-0-357320 青山正さん救援会

## 9月28日集会へ！

この1年余、長らくニュースをお休みし、また集会も1年やらないままにしてしまい、申し訳ありませんでした。「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（案）」関係の問題で、救援会の複数のメンバーが多忙を極めたため、お詫びのしようもありませんが、数名で切り盛りしている事務局の实情に鑑み、ご容赦いただければ幸いです。

同封のピラのとおり、来る9月28日、2年ぶりの集会を行います。前号のニュースでお伝えしたとおり、青山さんは再審請求をする決意を固め、徐々に請求の材料が集まる中で、再審請求のいわば先輩である足利事件に学ぶべく、同事件救援会の方においでいただき、報告を受けるとともに、討論を行っていく場にしたいと思います。是非皆さまお誘い合わせの上お越し下さい。

## 青山さん来京報告

毎年年末年始とお盆の時期に、関西で暮らす青山さんに東京に来てもらうことが恒例となっています。昨年の年末年始にも青山さんが東京にやって来ましたので、そのことについてそれぞれ時間を一緒に過ごした人から報告してもらいます。

12月29日、新幹線で東京駅に着いた青山さんとらくだというお店まで同行しました。今回は移動だけなので、青山さんに「何か通信に載せるようなことない？」と聞いたところ、特に無いなあ、ということなので、年賀代わりの絵を描いてもらいました。

近くに羊がなかったので、店にちなんでらくだの絵となりました。（西村）



昨年の夏休みにつづき年末年始も、青山さんは世田谷区・烏山の地域の仲間たちと過ごすことができた。

今回は、いつも青山さんを迎えてくれる森Dr.の都合が悪く、私も年末は青山さんと過ごすことが不可能だったため、どうしたものかと気掛かりだった。そのことを地域の仲間である亀山さん夫妻に伝え、年末年始は家族で千葉・房総の家に行くので一緒に行ってはどうかと提案してくれ

た。

昨年も一昨年も、青山さんはカラオケで亀山さんたちと出会っている。そして6年くらい前の話なので青山さん本人は忘れてしまったようだが、まだ私が大阪在住のころ、お互いに東京に行く用事があって一緒に上京し、私は実家に泊まったものの、狭いところなので青山さんの寝る場所がなく、その時も亀山さん宅に1泊させてもらったことがあった。

そんなこんなで、菊池さんに亀山さんからの提案を伝え、青山さんに確認してもらおう。青山さんは毎日違うところに行くのはシンドイらしいということで、亀山さんのご厚意に甘えて30日から1日までの3日間をご一緒させてもらうことに決定。

青山さんは30日に大阪から新幹線で上京し、西村さんが東京駅まで迎えに行き、烏山のレストラン「らくだ」(30日は年末年始のお休み。でも昨年の夏は念願叶って青山さんはここで昼食)に午後1時半ごろ到着。青山さんはいつものように上機嫌で、初めてではないこともあって、亀山さんとのやり取りを聞いていてもとても調子よく、一安心。ただ、ちょっと心配なのは、亀山さんちの娘・よっちゃんはどう思うか？ というのは、彼女はOKあるいはNOをハッキリ意思表示する。お年頃でもあり、当然ながら？若い男性の方が好きだろう。(オジさんでも自分を受けとめてくれる人だと直感するとお近づきになりたがるが)。一緒にカラオケに行ったことはあるものの...。とにかく、みんなで楽しく過ごして無事帰ってくることを願いつつ、あとは亀山さん夫妻にお任せした。

年が明け、1日の午後3時過ぎに青山さんは元気に烏山に戻ってきた。なんと、帰りの車中では、ずっと青山さんはよっちゃん

んに手を握られ寄り添われていたそうだ。青山さんはよっちゃんに気に入られたのだった。

お世話になった亀山さん一家に別れを告げ、すぐ近くのわが家へ向かう。元日でも私の連れ合いはこの日は仕事だった。二人きりでの夕食は寂しいと思い、これまでも青山さんとつき合ってくれる地域の仲間・大原さんを誘って6時からわが家で新年会となる。食べて、飲んで、おしゃべりに花が咲く。青山さんは亀山さんたちと過ごした様子を楽しそうに伝えてくれた。たとえば、温泉に入ったけれどシャワーが壊れていたことやお湯がぬるくて寒かったこと、よっちゃんがビールをよく飲んだこと、紅白歌合戦を見たことなどいろいろと話してくれた。あとから亀山さんに様子を聞くと、だいたい青山さんから伝え聞いたとおりだった。

翌2日は朝寝坊をして遅い朝食をとり、青山さんは連れ合いに、昨夜の新年会の様子を話していた。お昼過ぎに菊池さんと待ち合わせる新宿駅へ向かい、青山さんは3泊4日の短い東京滞在を終え、大阪へ帰って行った。

なにかと心穏やかではいられない出来事が多いなか、青山さんを気持ち良く迎えいれてくれる地域の仲間たちがいることを、あらためて心強く思うとともに、心があたたかくなるうれしい年末年始だった。きっと青山さんもうれしかったのだろう、亀山さんの電話番号を聞いて帰り、大阪からお礼の電話を入れたそうだ。

また今年の夏も青山さんは鳥山にやって来るだろう。また地域の仲間たちに声をかけて、楽しいひとときを過ごせたらと思う。新たな出会いにも期待して...

（古谷史子）

---

ニュース担当者のミスで掲載し損ねていた昨年の年末年始の報告を掲載します。

12月30日。時間までに、とにかく青山さんの寝る場所を確保し、食事をする場所を掃除するというのが私の課題。寝る場所は何とか確保、が、食事をする居間をあせて掃除していると5時に電話のベル。もう間に合わない、中島さんと家のすぐ側まで来ているとの事。掃除できてない事を謝って入ってもら。「もっと早く来て一緒に掃除してあげればよかったんだな」と残念そうな青山さん。それでも座るなり新聞をたたんだりして手伝ってくれる。夕食には鍋物を作るつもりだったが、時間がなくなり、私が御寿司を買いに行っている間にも一人で掃除をしてくれていた優しい青山さん。

何とか味噌汁だけは手作りで作る。間に合せの物でも、いつものように、ニコニコと、「おいしい」「おいしい」と言って食べてくれるのが嬉しい。その日はテレビを見て、猫とゆっくり遊ぶ。3匹の内1匹だけは人見知りせず、青山さんの膝の上に乗っかって眠ってしまう。青山さんも動物大好きで色々話し掛けてくれたりして穏やかな時を過ごす。

ゆっくり風呂に入り、就寝。

12月31日、ゆっくり起きて、遅い朝ご飯。前の日作っておく予定だったケーキができてなくて、青山さんが作ってくれる事になり、生クリームを泡立てる。ハンドミキサーで根気よく泡立ててくれる。台のス

ポンジケーキは生協の冷凍ものだったけれど、その台の上に青山さんが丁寧に生クリームを塗り、間にキュウイフルーツをはさみ、残り半分を乗せ、また生クリームで飾り苺をのせてと、とても豪華なデコレーションケーキが出来上がる。

出来上がった頃、菊池さん来られると電話。あわてて掃除の続き。バス停に迎えに行っている間にもまた掃除をしてくれていて、きれいになっていた。襦は猫さん3匹分のひっかき傷で破れ、押入に自由に出入り出来る大きな穴も開いたままで申し訳なかったけれど、青山さんの手作りケーキは特においしくて、楽しいティータイムが過ごせた。3人の方が青山さんも会話が楽しみ楽しそう。時間はすぐに経つ。

次の予定は、森さん宅に行く前にハリポッターの映画鑑賞とのことで、夕方大津ヶ岡出発。が、いつもは寂しく、力が抜けたようになる別れも、また二日後に会えると思うとあっさりとしたもの。またすぐに会えると思うのは嬉しいものだ。

2003年1月1日、東京で待ち合わせして

京都まで一緒に帰る。が、前日夜勤なのに、日中青山さんと楽しい時間を過ごし過ぎて、帰る準備と小包みが出来なくて、夜勤明けで帰ってからあわててやったが間に合わず、待ち合わせの時間に遅れてしまって申し訳なかった。携帯電話のおかげで、初詣に出掛けていた青山さんと西村さんに連絡がついてよかった。京都までの時間は昼寝とおしゃべりでとても早かった。

1月6日、大阪での合同会議で、とても元気でハイテンションの青山さんにまた会えて、しかも「再審やる」という生の声での決心が聞けて、とても嬉しかった。関西の方達の中にいる方が、青山さんはより元気で、生き生きとしているように感じた。青山さんと同級生の私も、青山さんの元気に負けないで頑張らなければと、また励まされ、大津ヶ丘に戻って来た。

事務局会議も、仕事が終わってから東京まで出て行くのがしんどくて休んでいたが、これからはできるだけ参加して、青山さんの近くに存在していきたいと思います。

（石橋章代）

## 弁護団会議報告

関東・関西救援会および弁護団で定期的に会議を持っており、再審に向けての方針作り、青山さんの生活を守り向上させるための相談をしています。本ニュース60号で、2001年9月1日の弁護団会議までは報告しました。その後も、2002年1月6日、3月23日、6月8日、10月5日、2003年4月26日、7月26日と会議を行ってきています。そこでの議論の内容について、簡単にご報告します。

### 再審に向けての証拠集め

「自白」の任意性と信用性について、東京供述心理学研究会（旧東京自白研）に依頼、途中経過を適宜報告してもらおうとともに、他の鑑定書（論文）をもとに救援会メンバーも勉強。

法医学鑑定について、内藤道興先生の鑑定書が完成。本件における法医学鑑定の不充分性、青山さんの「自白」との矛盾などについて分析していただいた。

被害者の「遺留品」とされている赤い鞆の類似品探し。被害者が持っていたとされる鞆と同一のものが見つかっており、撮影条件による写り方の違い、鞆の製造工程などで生じるずれについて検討中。もっと多

く集まれば情報が増えるので、収集作業はさらに継続中。

カバンの写真について、現在証拠として残されているものと当初公開されたものの違いをさらに明らかにするため、写真に関する鑑定書が作成された。現在その追試を施行中。

指紋が検出されていないことについて、詳しい意見書が作成され、現在それを検討中。

### 青山さんの生活

青山さんの生活レベルの向上と将来的な安定のため種々の努力を施行中。相続した土地があり、今使っておらず、また木や雑草が生えてかえって近隣に迷惑をかけており、草取りのために却って経費がかかっているため、早期売却を検討中であるが、農地であるため簡単に売れず、難航中。

また、2002年1月6日の会議で、青山さんが再審申請を行う決意をしてくれたことはニュース61号でご報告したとおりです。

課題はいろいろあるのですが、活動する人員も資金も知識も不足しています。ご協力いただける方を切に求めます。

## 会 計 報 告

（久しぶりのニュースのため、2年分まとめた報告です。申し訳ありません）

### 2001年度（2001年4月1日～2002年3月31日）

収入		支出		
前期繰越	147,540	ニュース等経費	75,501	
協力会費	98,000	集会会場使用料	1,680	
会費	17,000	集会講師お礼	40,000	
カンパ	68,385	事務局会議用会議室料	5,660	
集会会場費	11,000	弁護団会議交通費負担	41,900	
ビデオダビング代	400	千葉人権展経費	2,404	
郵便貯金利子	172	写真解析経費	10,000	
-----		-----		
	342,497		177,145	繰越 <u>165,352</u>

#### 野田事件再審基金報告

収入		支出		
繰り越し	22,208	テープダビング関係	8,395	
カンパ	101,500	資料複写	6,450	
		弁護士交通費	41,410	繰越 <u>67,453</u>

### 2002年度（2002年4月1日～2003年3月31日）

収入		支出		
前期繰越	165,352	資料コピー等経費	6,390	
協力会費	4,000	弁護団会議交通費負担	24,000	
会費	12,000			
郵便貯金利子	20			
-----		-----		
	181,372		30,390	繰越 <u>150,982</u>

#### 野田事件再審基金報告

収入		支出		
繰り越し	67,453	なし		
カンパ	75,000			繰越 <u>142,453</u>

上記のような経済状況です。この間ご報告していないで失礼しましたが、再審に向けた準備活動は続けており、鑑定依頼等にまだまだ多額のお金が必要ですし、救援会の活動費も底をつきかけています。再審基金へのカンパ、救援会への協力会費などのご協力をぜひよろしくお願い致します。